

□ 要請番号 (JL22418A02)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|---------|----------------|------|------|----|------|-----------------------|
| ドミニカ共和国 | C101 食用作物・稲作栽培 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2018/3・2018/4・2019/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

経済企画開発省

2) 配属機関名 (日本語)

オサマ農牧協同組合

3) 任地 (モンテプラタ県ラ・ルイサ村) JICA事務所の所在地 (サントドミンゴ特別区)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1969年に設立されたオサマ農牧協同組合は、ラ・ルイサ村の農業従事者とコミュニティの住民を対象に、各種協同組合活動を促進してきた。業務内容は金融業務や各種サービスの提供により、組合員の生活改善を実施することである。1994年にIAD(ドミニカ農地庁)の支援により稲の乾燥機、脱穀機、精米機等を設置し、地域のコメ農家の生産から流通に至るまで支援を行っている。現在の組合員数は75世帯、組合員全体のコメの年間収穫量は、約11,400トン。地元消費作物としてコメの他にキャッサバ、プラタノ(調理用バナナ)、カカオ、熱帯果物などを栽培している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同地域では現地消費用のインディカ米を3-6月と8-11月の二期作で栽培しているが、近年は生産量の伸びが思わしくなく、特に8-11月期の生産が低迷している。この状況を受け、小規模生産農家に向けた、生産量の増加を目的とした技術支援を求め、ボランティア派遣の要請が挙げられた。なお同配属先が有している精米所の乾燥機や脱穀機は設置から20年以上が経過し、老朽化が進んでいるが、そのリニューアルをFEDA(農業開発特別基金)の資金を通じて実施することになり、今後同基金のプログラムが順調に推移すれば、それら機器が更新される見込みである。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

3-6月と8-11月の二期作で水田稲作をする、約40の農家に対し生産量を増加するために以下の支援をする。

1. コメの育苗から収穫までの技術支援を行う。
2. 灌漑設備(ダム利用)の有効活用の助言をする。
3. 現行の有機肥料利用について改善点などの助言をする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

乾燥機、脱穀機、精米機

4) 配属先同僚及び活動対象者

農協の主要メンバー6名 男性4名、女性2名 30-60代
稲作農家 40家

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：技術的な支援が必要であるため

[参考情報]：

- ・大学等での実習も実務経験に含む。

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（18～34℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、常時安定しているわけではない。